

令和6年3月13日(水)

令和5年度 第3回陸別町学校運営協議会 学校説明資料

陸別町立陸別中学校



令和6年 2月 9日

陸別中学校保護者 各位

陸別町立陸別中学校
校長 伊澤理紀

令和5年度 第2回学校評価アンケート結果について

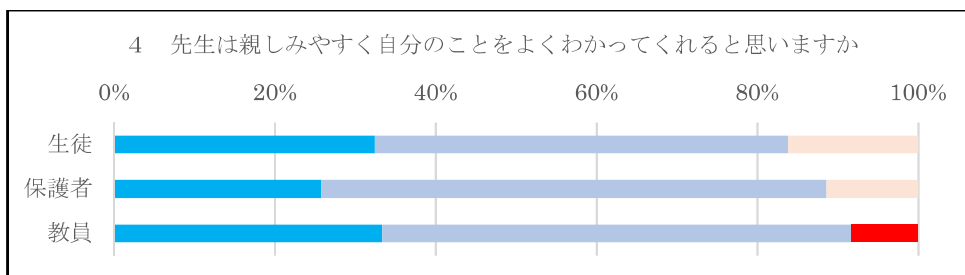
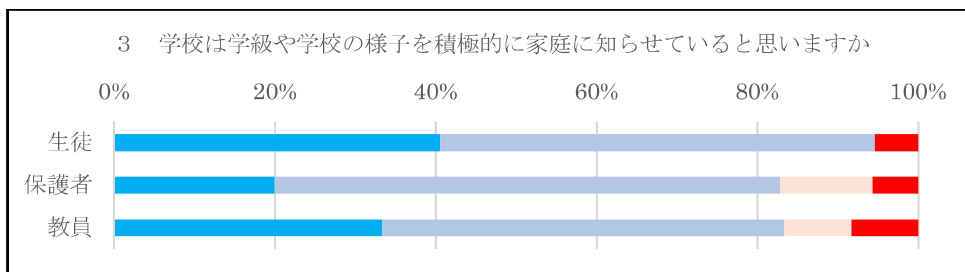
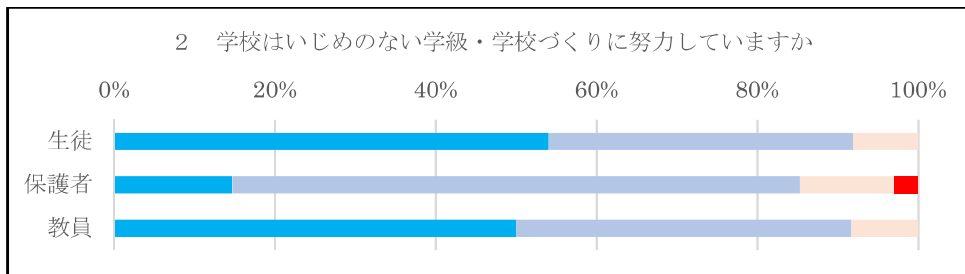
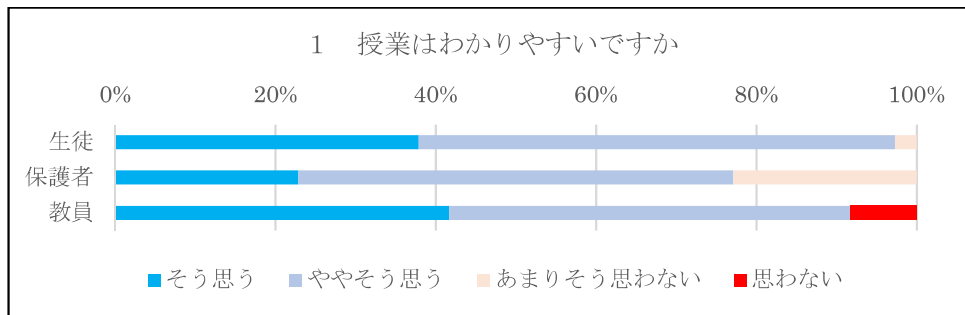
余寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

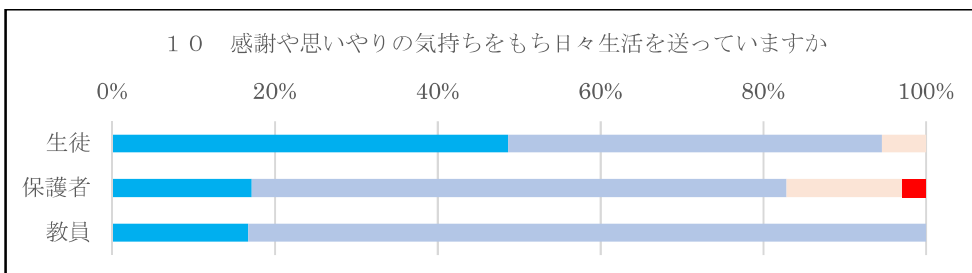
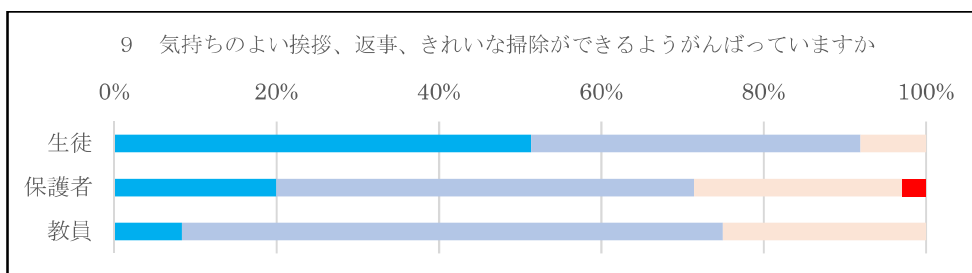
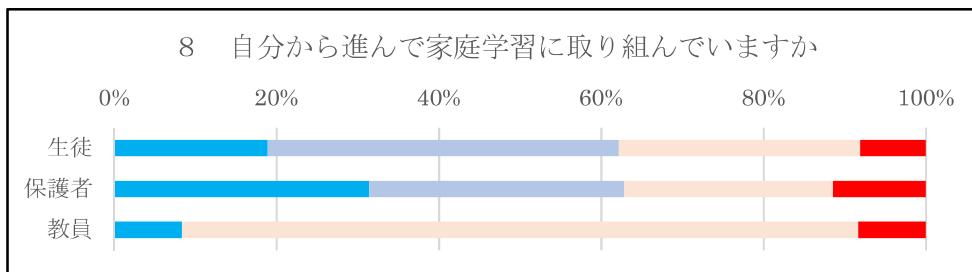
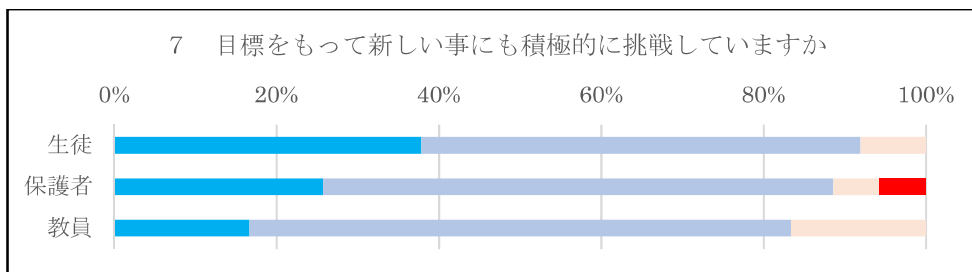
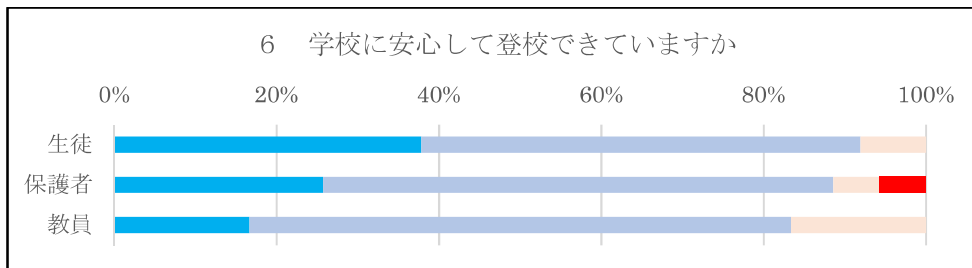
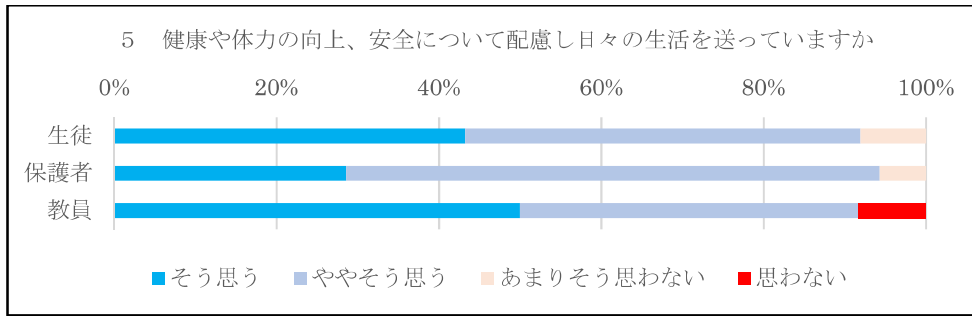
さて、今年度実施いたしました第2回目の学校評価アンケートの結果について、比較分析を行い、まとめましたのでお知らせいたします。

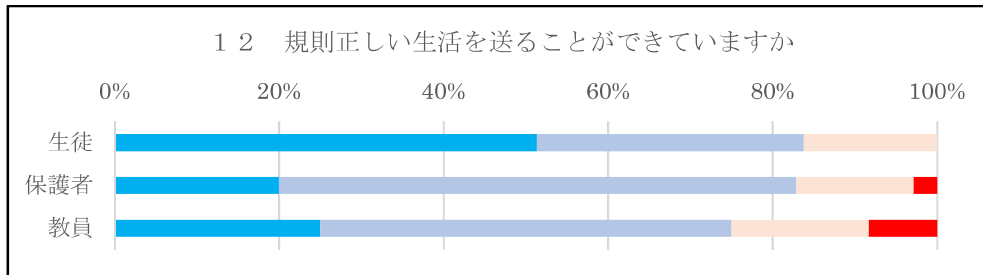
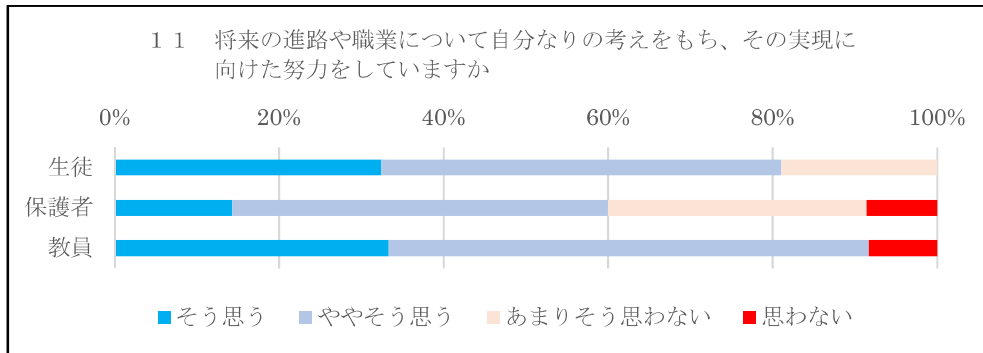
本校では、例年、年2回実施しアンケート結果の考察・分析をしているところですが、課題が見られる部分につきましては、改善に向けてさらなる取組を学校全体で行って参ります。今後とも、ご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1 調査結果の概要について（三者の比較）







2 いただいたご意見

(1) 生徒より

特になし

(2) 保護者より

「質問項目の1について、授業の様子がわからない（参観にも仕事の都合上いけない）ので、よくわかりません。担任の先生には大変お世話になっており、感謝しております。子どもが楽しく充実した学校生活を送ることができているようで安心しています。」

→ 今後も授業参観・地域参観日の機会を確保するとともに、早めのご案内に努めます。ご都合のつく機会にはぜひご来校いただくとともに、ご家庭でも授業の様子について話題にする機会を増やしていただけると幸いです。また、授業の配信なども含め、機会確保へ向けて検討していきます。

「勉強のしかたが分からない。家庭学習の仕方を具体的に提案してほしい。出来ない子と出来る子と差がひらいていると思う。もっとやる気をなくしている。」

→ 今後も一層わかりやすい授業作りに努めるとともに、家庭学習についてのアドバイスも重ねていきます。生徒たちから教員への質問や、自主的な取組を推進できるような環境づくりにも努めていきます。

また、ICTを活用した教材を利用している教科もあります。それらも上手に利用し、個々の生徒に応じた学習を推進できるような活用方法を、今後も検討していきます。

ご家庭でも、時間の使い方や環境づくりなど、アドバイスをいただけるようお願いいたします。

「職員玄関付近がくもの巣などで汚いのが行くたびに気になります。」

→ 情報をいただき、ありがとうございます。確認ができた箇所につきましては、早速対応をさせていただきます。今後も清掃を励行するなど、保護者・来客のみなさまが気持ち良く来校いただける環境整備に努めます。

3 調査結果の比較から

- 多くの項目で、肯定的な評価をいただいています。特に、三者とも高評価となっているのは、「2 いじめのない学級・学校づくり」「5 健康や体力の向上」「7 目標をもって積極的に挑戦」「10 感謝や思いやりの気持ち」が上げられます。
- 前期実施時と比較し、特に生徒は数値の上昇が見られた項目が多く、学校生活を充実させようと努力している様子が見られます。
- 教員の各種研修会への参加を促し、また、校内研修の機会を確保するなど、授業力向上を図り、よりわかりやすい授業になるよう取組を継続していきます。
- ご意見でもいただきましたが、三者ともに低い数値となっているのが、前期に引き続き「8 自ら進んで家庭学習に取り組んでいる」の項目でした。前記に加え、これまでも行ってきた職場体験学習や修学旅行における大学の見学など、将来への意識を高めることでも主体的学習につながれるよう努めます。
- どの項目にも「思わない」との回答が見られます。学校をより安心して過ごせる場所にすべく、次年度からは「学年担任制」を導入することで、そのような声を聞き逃すことなく、一人一人に必要な配慮や支援を全職員で検討・共有します。また、図書コーナーの充実など、リラックスしやすい環境づくりも進めます。
- 学校からの通信・ブログなど情報発信を行うとともに、保護者と学校間での情報共有・相談体制づくりに努め、生徒たちのよりよい学びと育ちへ向けて、共通認識のもと協力していくことが今後も大切だと考えます。保護者面談や各種懇談、PTA諸会議などの機会も利用し、保護者の皆様からもたくさんのお声を聞かせていただけると幸いです。

目指す学校像 「誰もが通いたい学校、働きたい学校」 ～ 楽しい学校生活～

心安らく環境

「自他ともに認め合う関係」（多様性への理解）

「相談できる人の存在」（友人、学年担任、SCなど）

「のんびりできる空間」（教室、保健室、図書コーナー）

楽しい活動（学習、行事、部活動）

「おどろき」（興味、関心）

「うなずき」（理解、習得）

「かがやき」（主体的な思考、活動）へ



生徒たちの「笑顔、生き生きとした表情」

陸別の強みとしての教育資源

- ・教 師：若さ、フットワーク、チャレンジ精神、柔軟さ
- ・地 域：親近感、人材、豊かな自然、地理的な位置、学術文化施設（天文台、チャシなど）

「りくべつ学」を要とした体験的活動の充実

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ・ 野外学習 | ・ 宿泊研修 | ・ 修学旅行 |
| ・ 体育祭 | ・ 文化祭 | |
-
- | | | |
|--------------------|----------|-------------|
| ・ 郷土歴史見学 | ・ 職場体験 | ・ 模擬議会 |
| ・ 福祉体験 | ・ 着付教室 | ・ 雅楽体験 |
| ・ 理科実験 | ・ 天体観測 | |
| ・ マナー講座（接客、インタビュー） | ・ カメラワーク | ・ プレゼンテーション |
| ・ 工芸（リース、水引、刺繍） | ・ 食育（調理） | |